

## 平成12年度フレッシュマン・キャンプの実施報告

学 生 部  
檀                      明

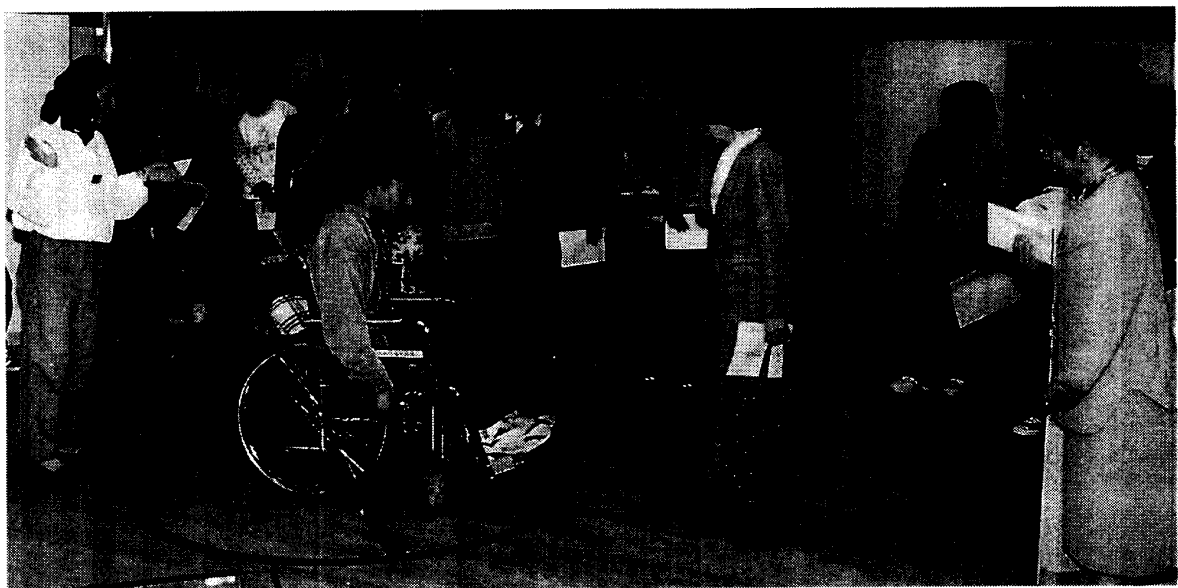
生活福祉科介護福祉専攻では、専攻を開設以来、新入生を対象に毎年恒例の「フレッシュマン・キャンプ」を実施しています。

この計画の「目的・意義」は、卒業時に得る「介護福祉士」の資格として、幅広い福祉の領域への導入となる関係諸機関の見学と、これからの2年間、どのゼミナールに所属し専門分野の調査・研究を深めていくかを決定する重要な意味を含んでいます。

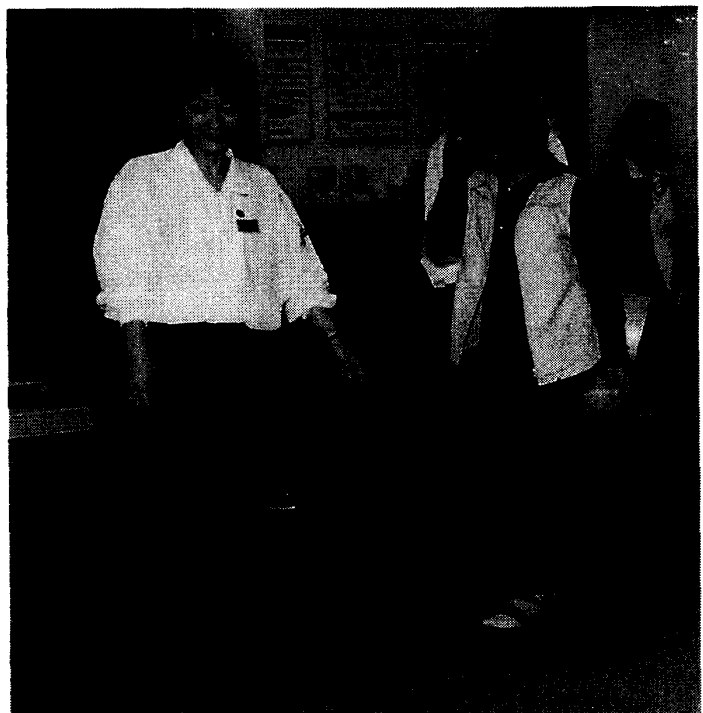
また、このキャンプを通じて学生相互の、あるいは教員と学生の交流を可能な限り図り今後の学生生活についての適切な構えをもってもらいたいと願っています。

今年度の実施については、昨年度までの4月中旬の期日設定から、4月末から5月連休の間の中だるみになりがちな授業日を効果的に生かそうという意味で5月1日、2日に設定しました。以下、概要を述べますと、5月1日（第1日目）短大出発後、京都嵐山で散策、昼食後、木津町のハイタッチ・リサーチパーク内にある、セキスイ総合住宅研究所「納得工房」を見学。学生らは、高齢社会に対応する“住まいの在り方”を企業独自の研究を間近に感じて、モノを売るだけの企業では無くて、住み手、作り手、研究者がともに考えていかねばならない問題としての方向を感じてくれたかどうか。

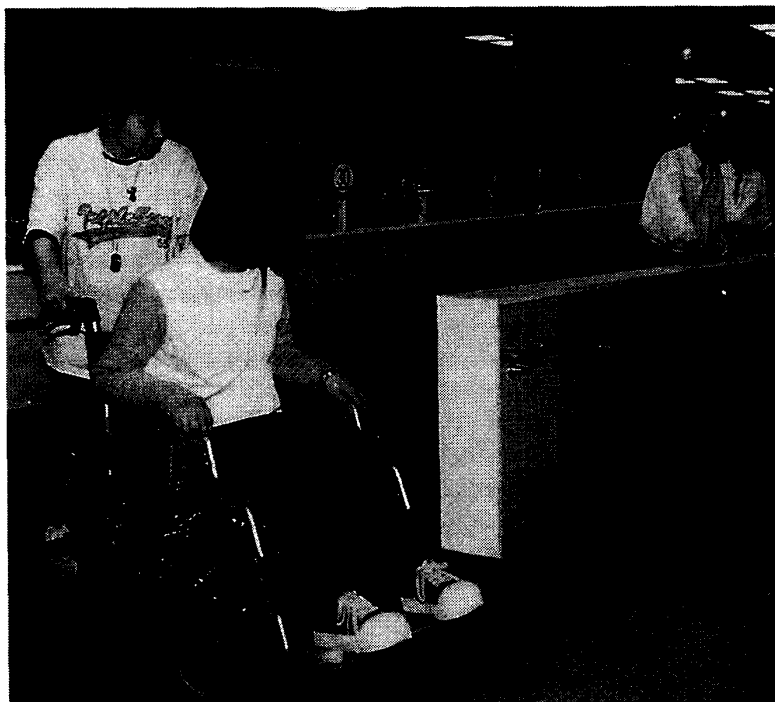
その後、宿泊地の大阪三井アーバンホテルに到着。少し休憩した後、「介護福祉専攻ミーティ



ング」を開始。学科長より「介護福祉士について」講話、各教員自己紹介、ゼミナール希望調査と決定。介護福祉士養成施設協会「学生事故補償制度」についてなど、少しハードスケジュールであったが、無事に終了。引き続き「新入生歓迎パーティ」を終える。5月2日（2日目）ホテル出発後、このキャンプの最大目的であるATCエイジレスセンターに向かう。到着後、センター職員の方から「ATCエイジレスセンターの概要」を聞いた後、グループ別に各ゾーンの説明を受け、「バリアフリー体験」ゾーンでは、車椅子に乗って坂道を登ってみたり、公園や駅



のホームといった場所を特定してキャップハンディを体験していく。ここでは、普段何げなくしている行為を通して、自分だけではなくて、高齢者や障害者、子供から大人まで、すべての



人が住みやすい街とは、どう有るべきか、誰もがいきいきと生活できる“ユニバーサルな社会を創造していく為のヒント”を提案している。また、このセンターは西日本最大規模で福祉機器を展示し、実際に試用できることを特徴としているので、新入生にとっては有意義な見学であった様に思う。キャンプ行程を無事に終え、あとは、それぞれに、これから始まる各ゼミナールでの展開に生かしてくれることを願って帰路に着いた。